

**平成22年3月期
第2四半期 決算説明会**

平成21年11月10日

株式会社ジェイテクト

【第一部】

1. 平成22年3月期第2四半期の業績

1-1) 財務データ

3

JTEKT
(億円)

	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	対前年 同期比	21年3月期
売上高	5,814	3,398	58.4%	10,170
営業利益	341	142		223
経常利益	352	145		111
四半期(当期)純利益	204	165		119

1-2) 財務データ

比較対象の数値を青色で表示しております。

	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	対前年 同期比 (対前期比)	21年3月期
棚卸資産	1,356	1,194	(93.6%)	1,277
有利子負債	1,849	2,555	(118.2%)	2,162
設備投資額	243	148	61.2%	511
減価償却費	266	244	91.7%	558

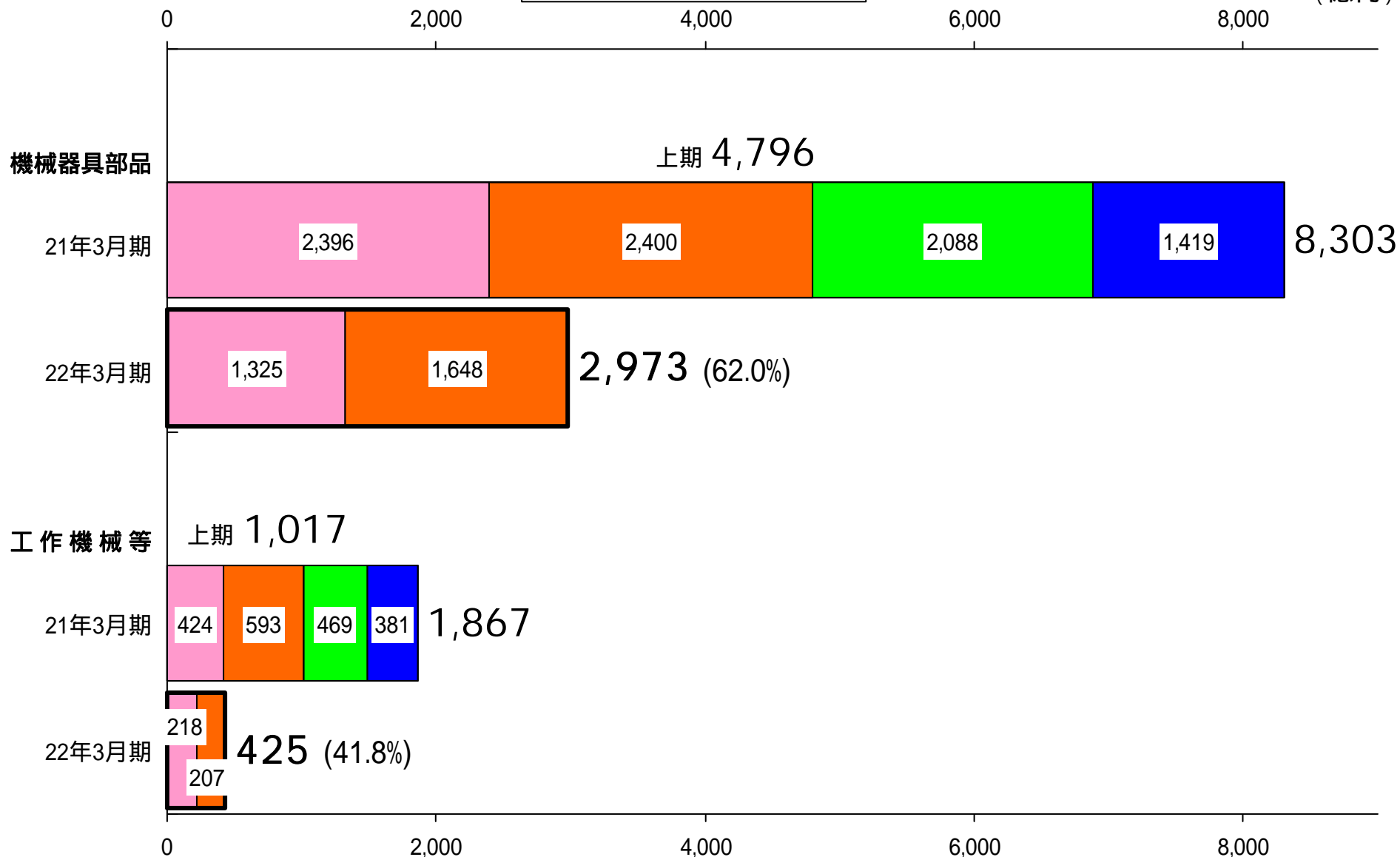
1-3) 事業別売上高



(億円)

()内は対前年同期比

1Q 2Q 3Q 4Q



1-4) 地域別売上高

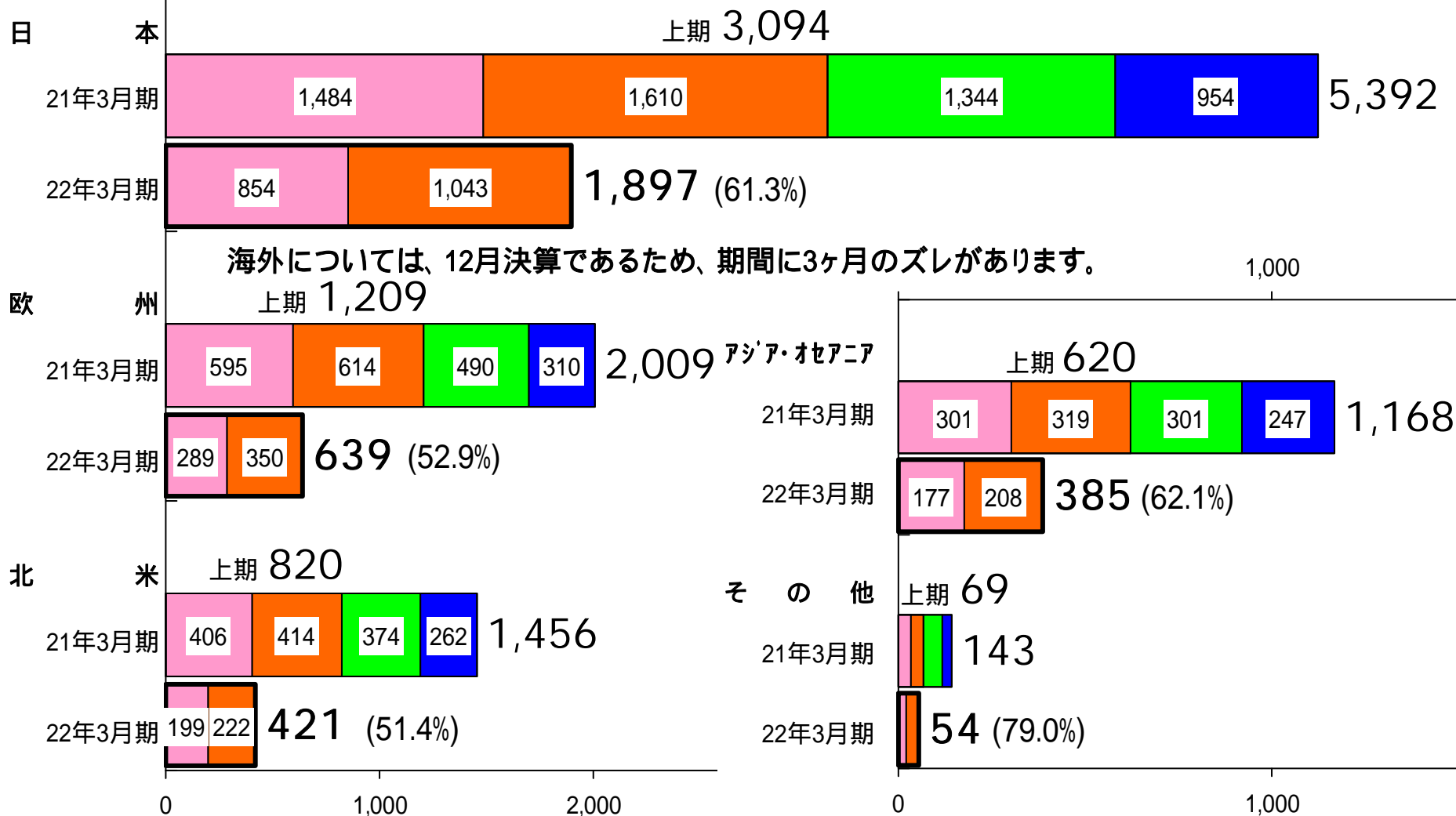


()内は対前年同期比

1Q 2Q 3Q 4Q

(億円)

0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000



1-5) 事業別営業利益

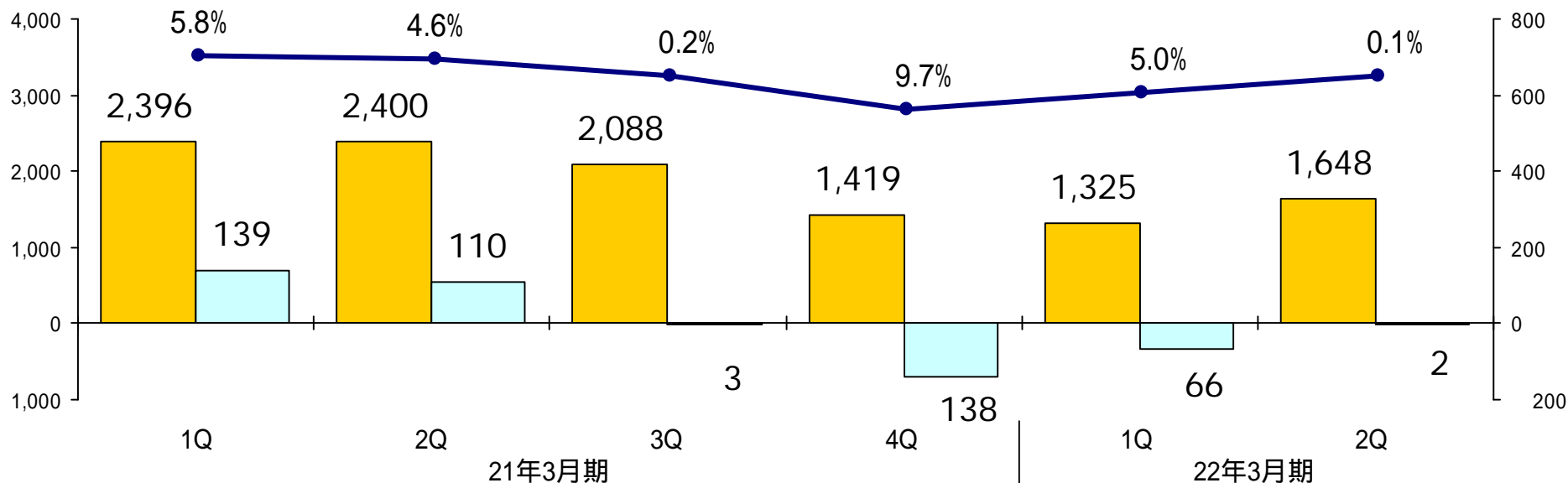
セグメント間の「消去」については記載していません。



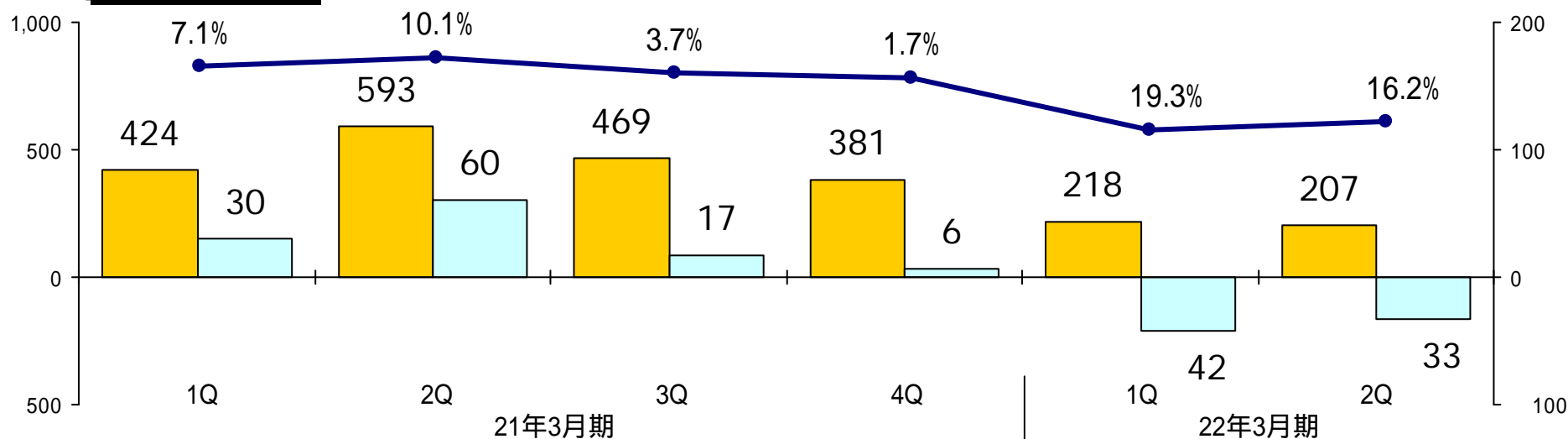
機械器具部品

■ 売上高(左軸) □ 営業利益(右軸) ● 営業利益率

(億円)

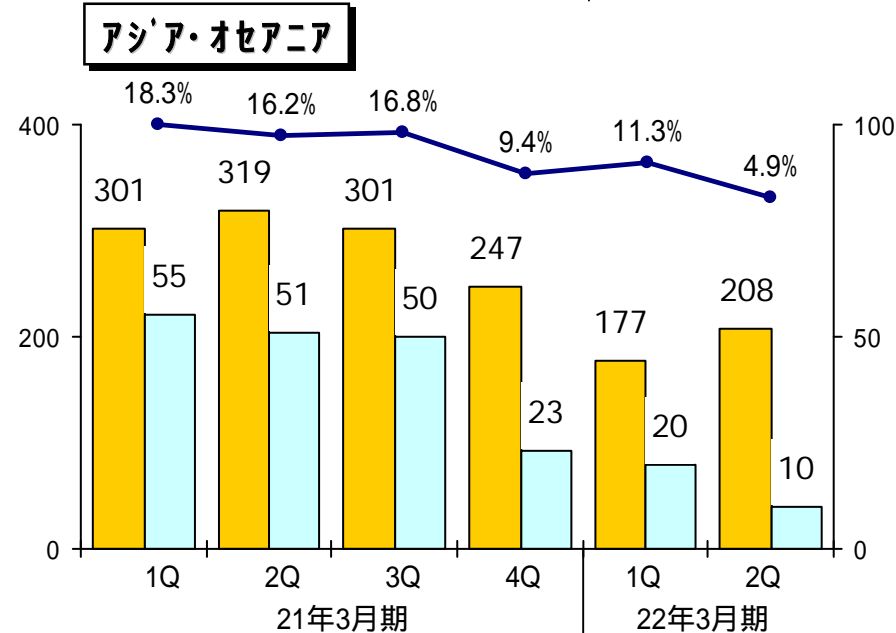
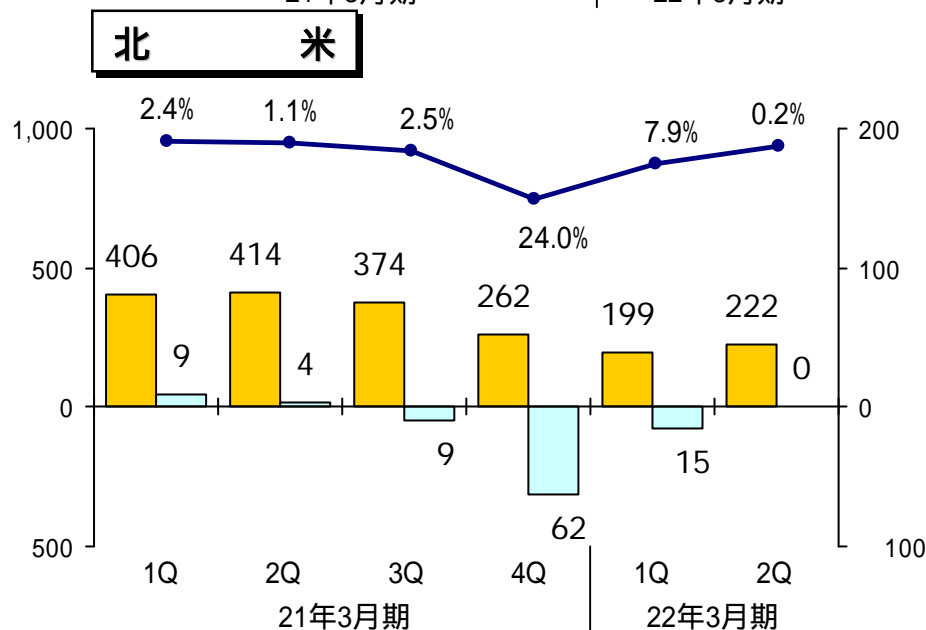
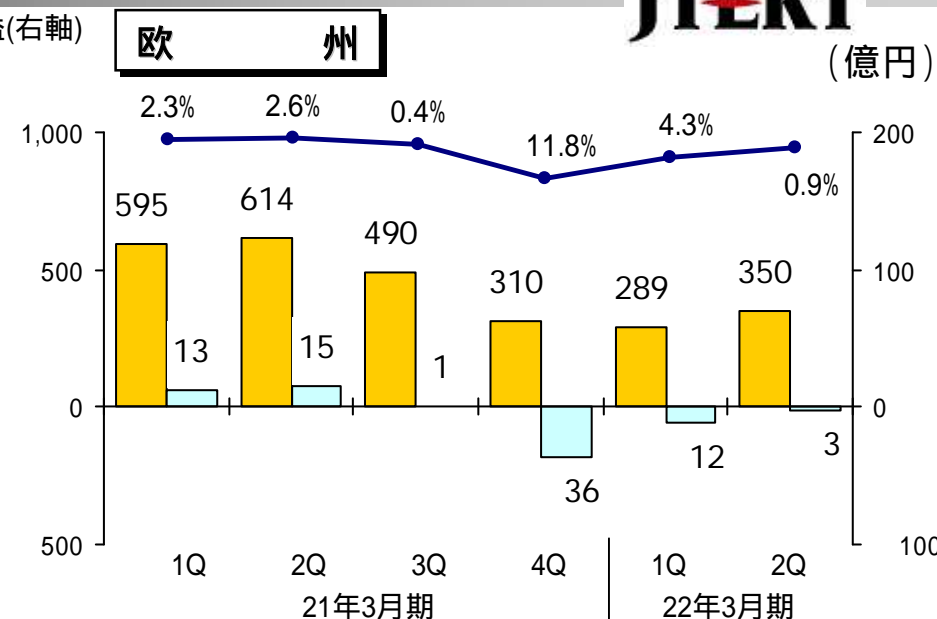
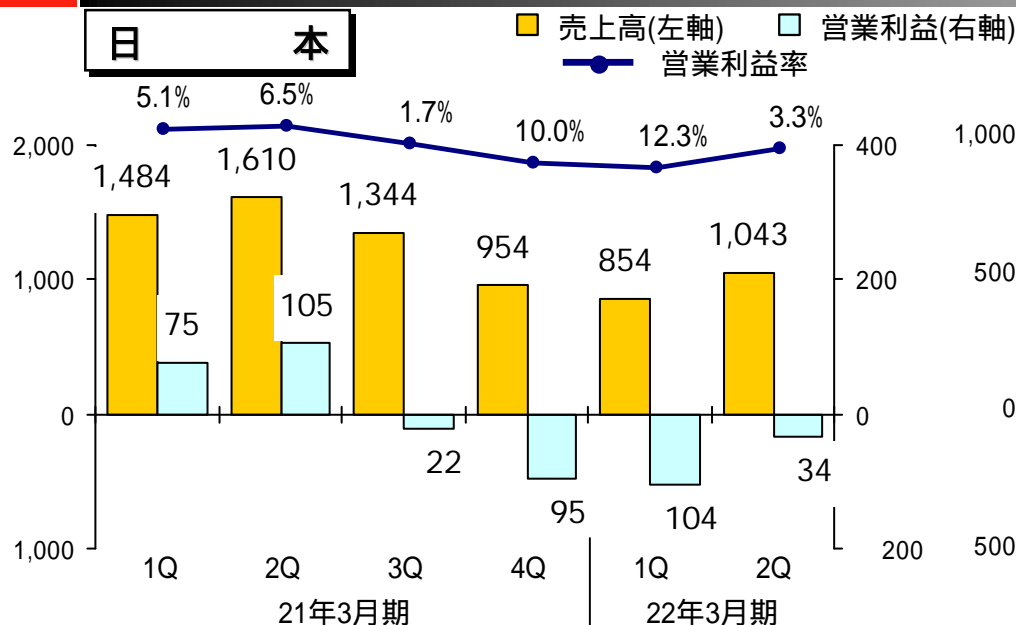


工作機械等



1-6) 地域別営業利益

「その他の地域」およびセグメント間の「消去」については記載しておりません。



2 . 平成22年3月期の事業計画

2-1) 財務データ

10

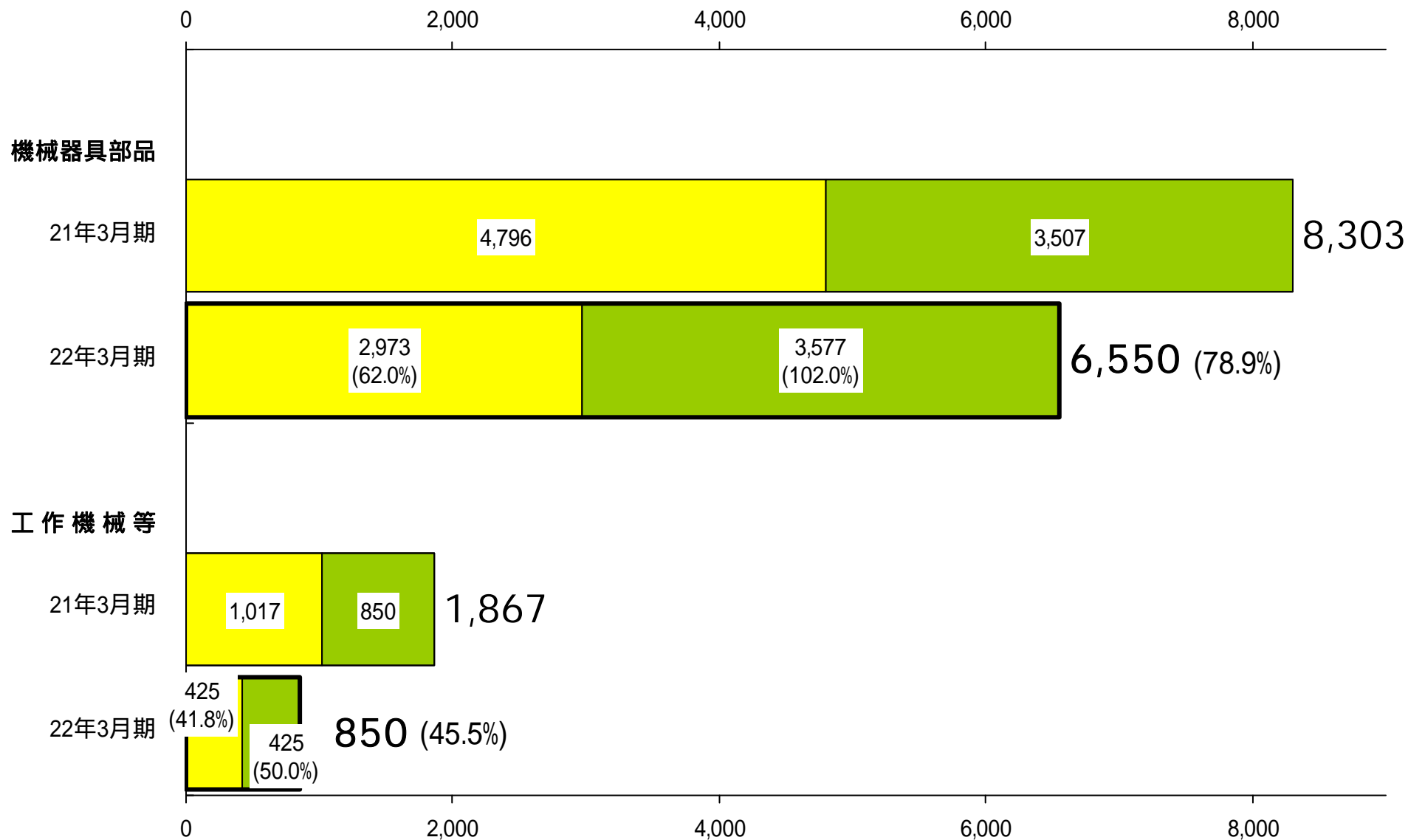
JTEKT
(億円)

	21年3月期	前提為替レート(下期)		22年3月期	対前期比
		U S \$	90.00		
売上高	10,170			7,400	72.8%
営業利益	223			40	
経常利益	111			50	
当期純利益	119			110	
設備投資額	511			320	62.6%
減価償却費	558			500	89.6%

2-2) 事業別売上高

()内は対前年同期比

■ 上期 ■ 下期



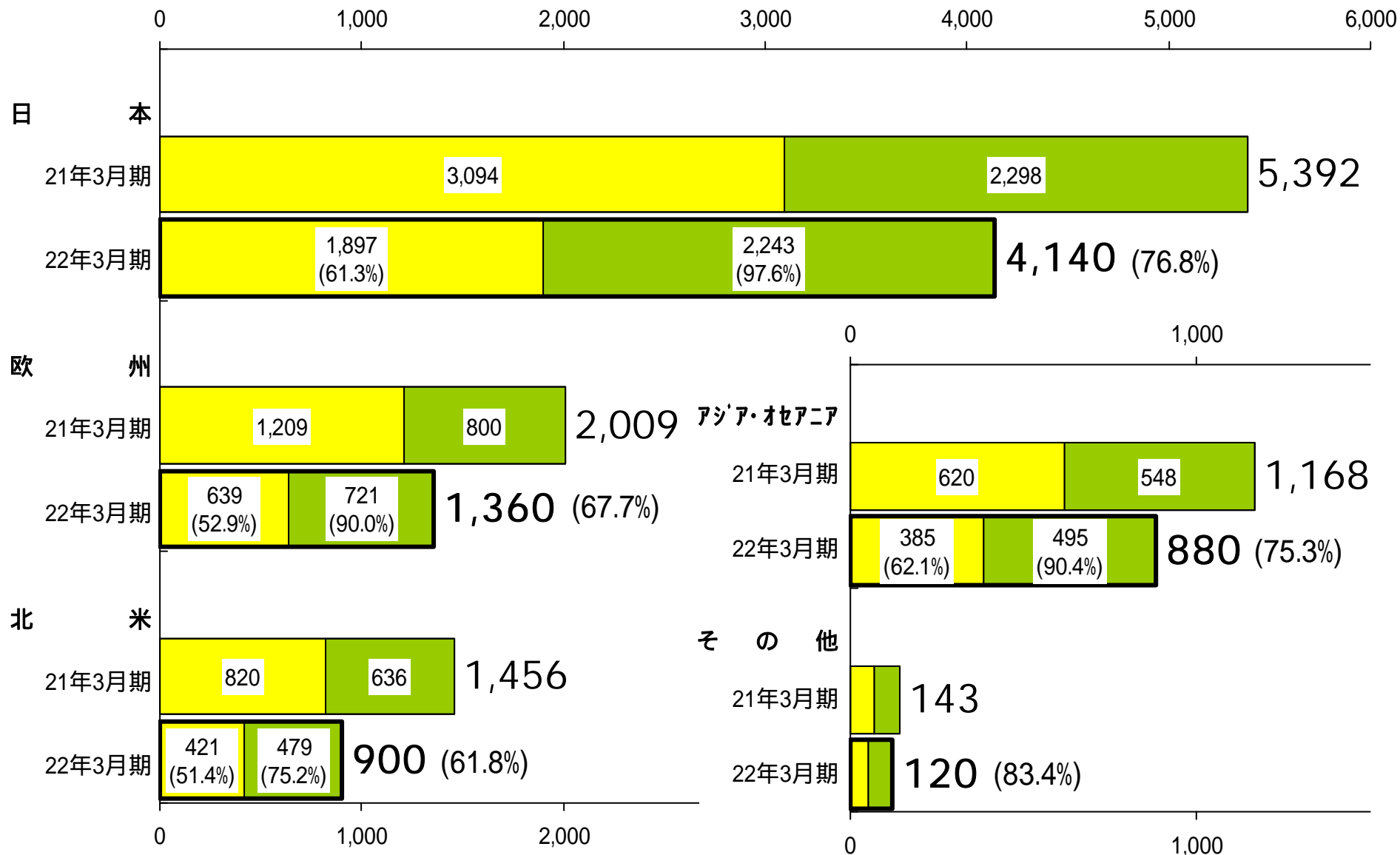
2-3) 地域別売上高



()内は対前年同期比

■ 上期 ■ 下期

(億円)



【第二部】

1. 「収益基盤」の再構築

2. 将来の成長に向けた事業戦略の展開

3. 軸受事業の基盤強化

4. まとめ

1. 「収益基盤」の再構築

JTEKT

取り組みの着眼点

生産規模に応じた固定費の削減
変動費の完全な変動費化



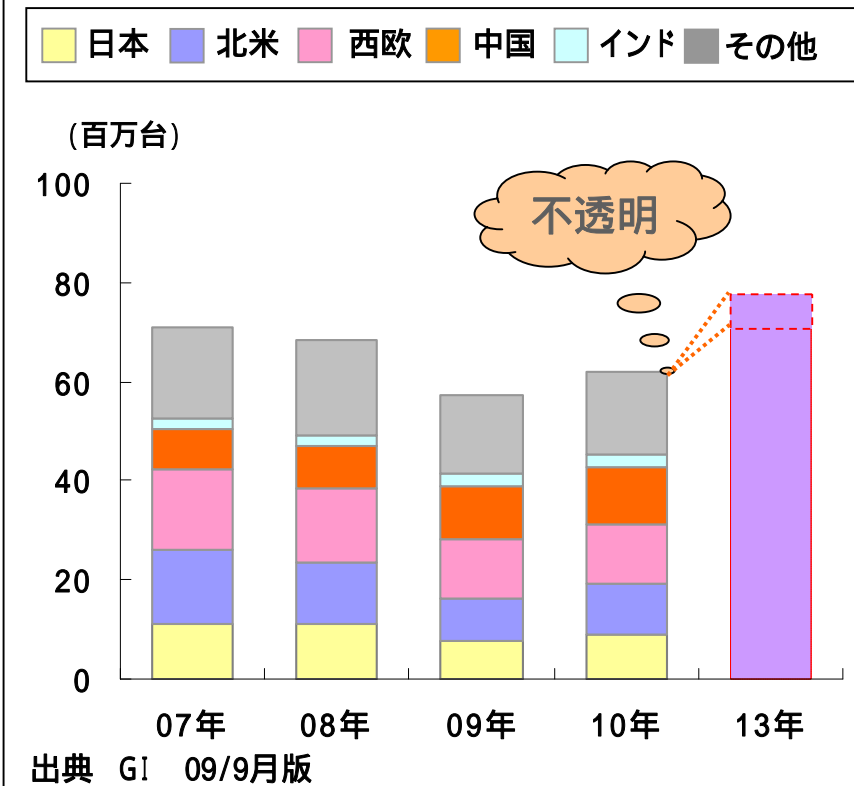
損益分岐点の引き下げ

1. マーケット動向
2. 需要に応じた要員調整
3. グローバル生産体制の再構築
国内生産体制 海外生産体制
北米ステアリング生産体制
4. 国内物流体制の再構築
5. 「収益基盤」の再構築まとめ

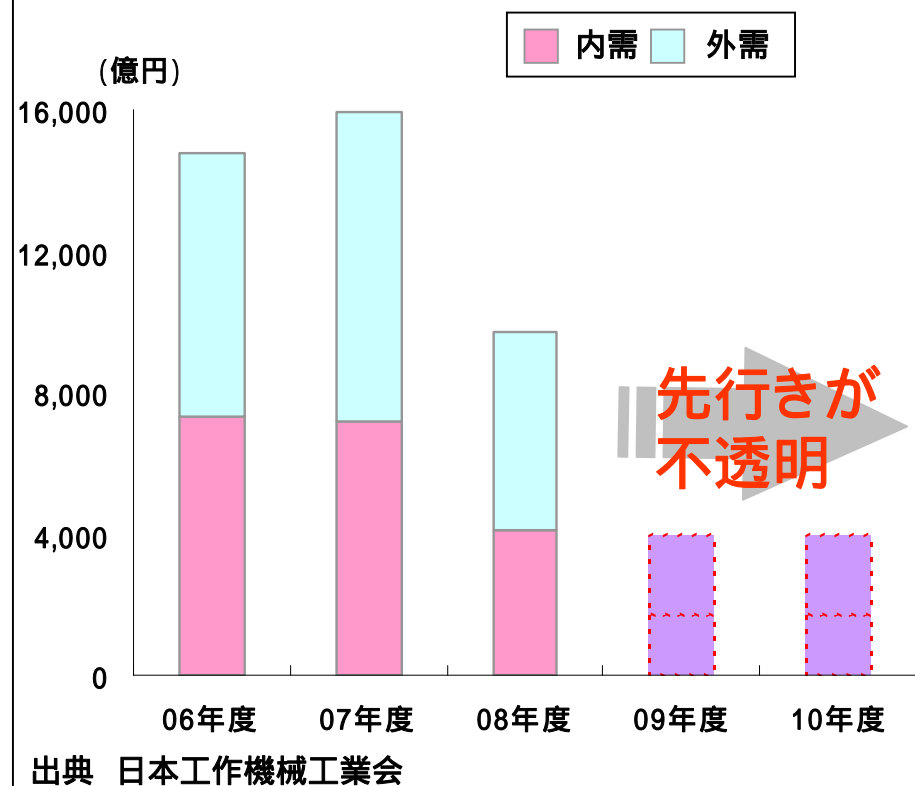
1-1) マーケット動向



世界自動車生産台数



日本工作機械受注額



09年で底を打つものの
10年の見通しは不透明

長期的な低迷が鮮明に

1-2) 需要に応じた要員調整



日本での取り組み

<これまでの取り組み>

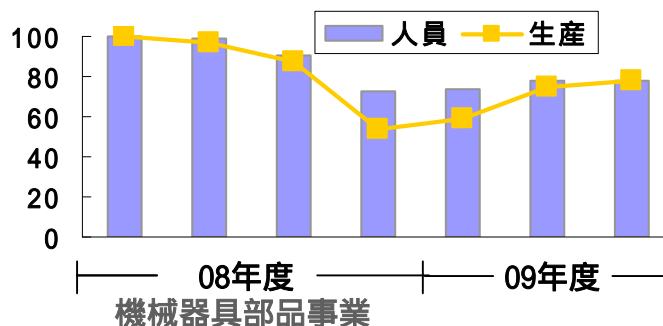
非正規社員の
契約更新停止

残業ゼロ化

役員・基幹職の
給与カット等

フレキシブルな要員調整

〔08年度1Qを100とした時の
人員数と生産高の指数〕

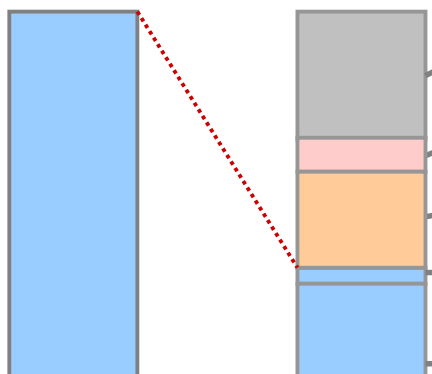


- 追加施策 -
管理間接部門の
社内生産応援
社外生産応受援



新人者工程づくり
「技能伝承道場」の充実
多能工化の教育訓練強化

工作機械事業の要員調整



08年9月人員数

09年10月人員数

非正規社員の契約更新停止

他社への生産応援

他事業本部への異動・生産応援

先行開発・体質改革プロジェクト

生産高に対応した人員へ調整

工作機械事業人員

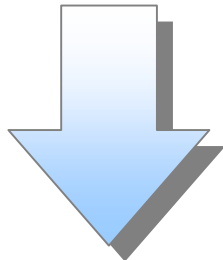
08年比 1 / 3化

1-3) グローバル生産体制の再構築- 国内生産体制



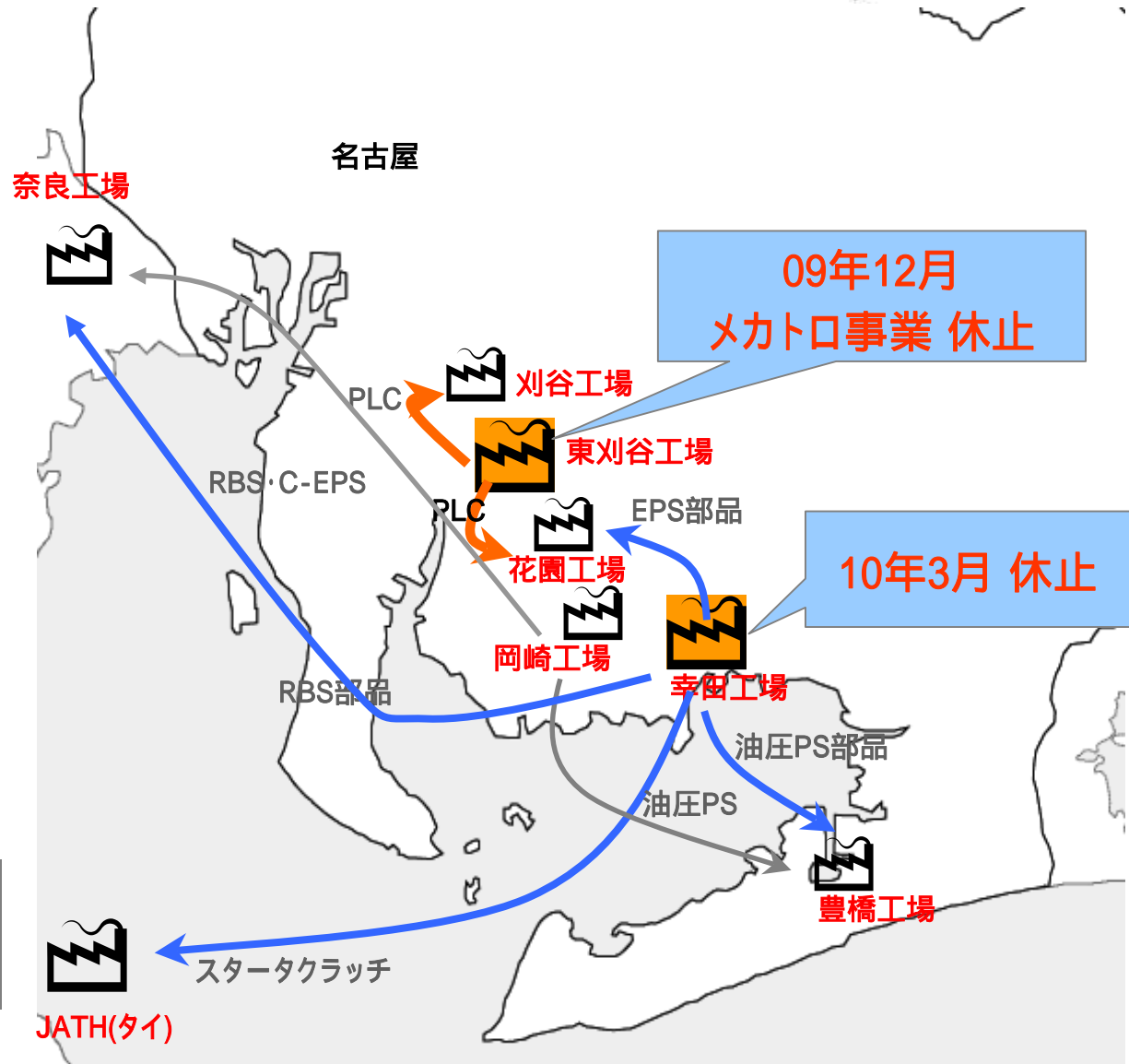
再編のねらい

合併による
生産品目の重複解消
EPS化に伴う
油圧PS減産の対応
工場間部品物流のムダ排除

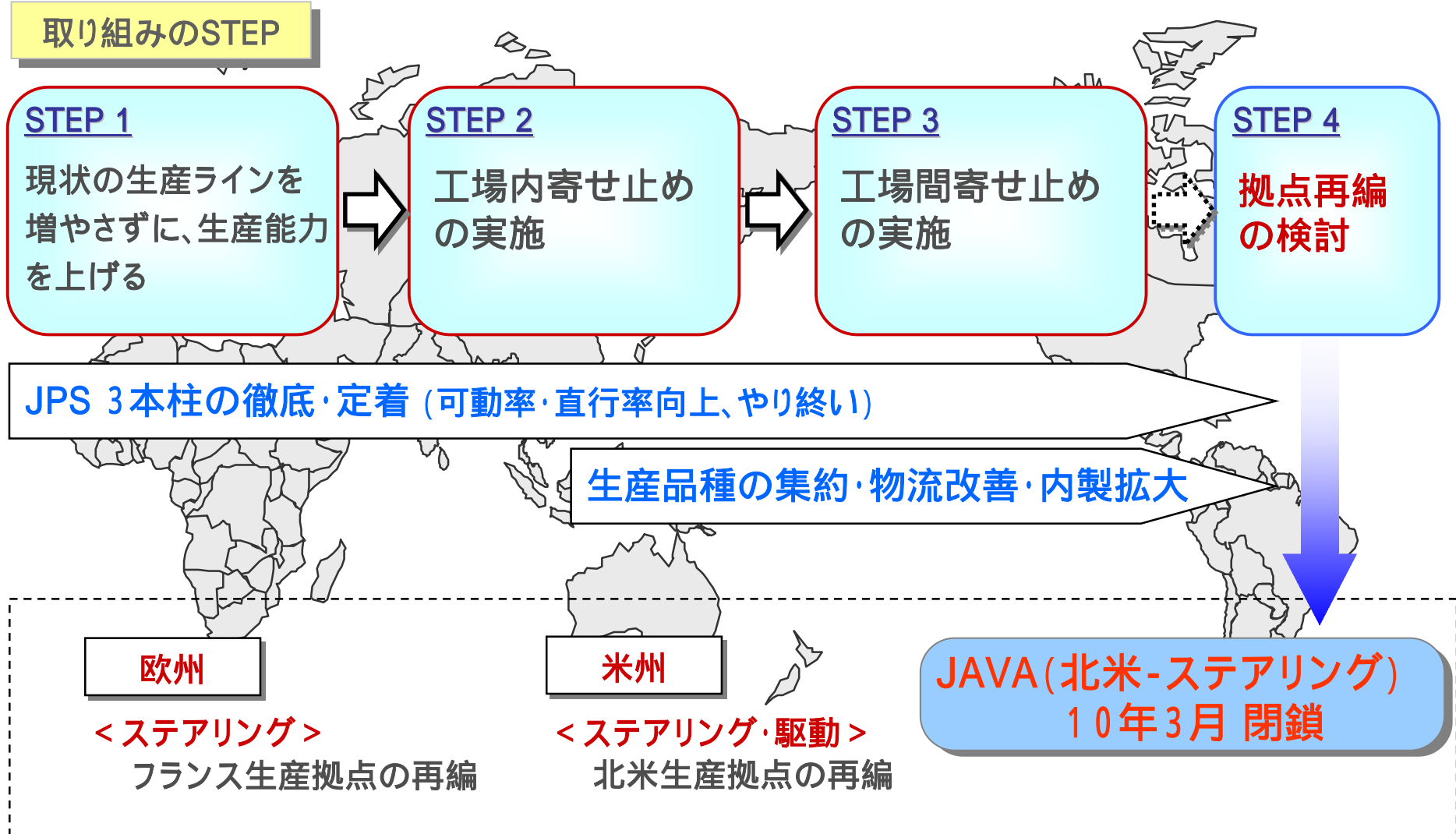


工場間寄せ止めによる
生産性向上

国内生産体制再構築
目処付け完了



1-3) グローバル生産体制の再構築- 海外生産体制



1-3) グローバル生産体制の再構築- 北米生産体制



北米ステアリング拠点 4拠点から3拠点体制へ

10年3月 閉鎖

→ : JAVA閉鎖に伴うライン移設

JAVA
(バージニア)

JATM
(テネシー)

JATV
(テネシー)

C-EPSライン移設

C-EPSライン移設
ギヤライン移設

JATX
(テキサス)



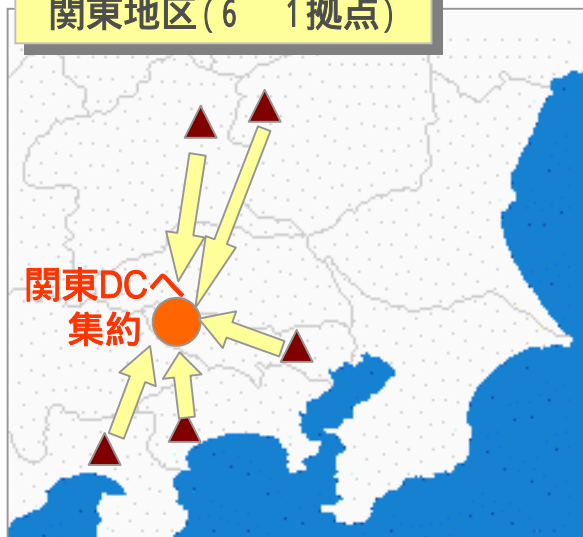
1-4) 国内物流体制の再構築



関東・中部・関西の3物流拠点に統合

● 既存拠点への集約 ● 新設拠点への集約 ▲ 統合された拠点

関東地区 (6 1拠点)



中部地区 (2 1拠点)



関西地区 (5 1拠点)



物流総コスト削減

CO2排出量削減

在庫削減
滞留期間短縮

- ・物流拠点集約による少便化
 - ・倉庫費用の削減
- ➔ 年間 約6億円のコスト削減

「客先別-品番別在庫管理」から
「品番別在庫管理」へ

1-5) 「収益基盤」の再構築まとめ

損益分岐点の引き下げ

生産規模に応じた固定費の削減
変動費の完全な変動費化

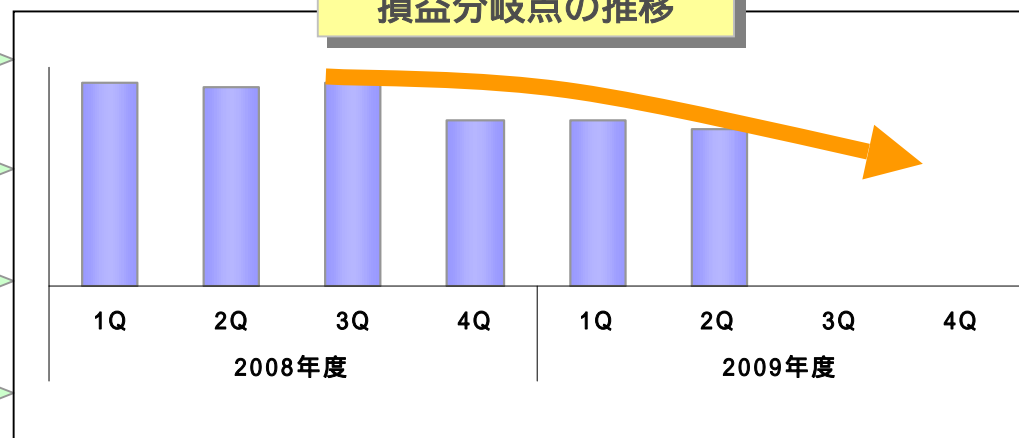
需要に応じた人員調整

生産拠点再編

設備投資圧縮・内製化拡大

経費削減etc

損益分岐点の推移



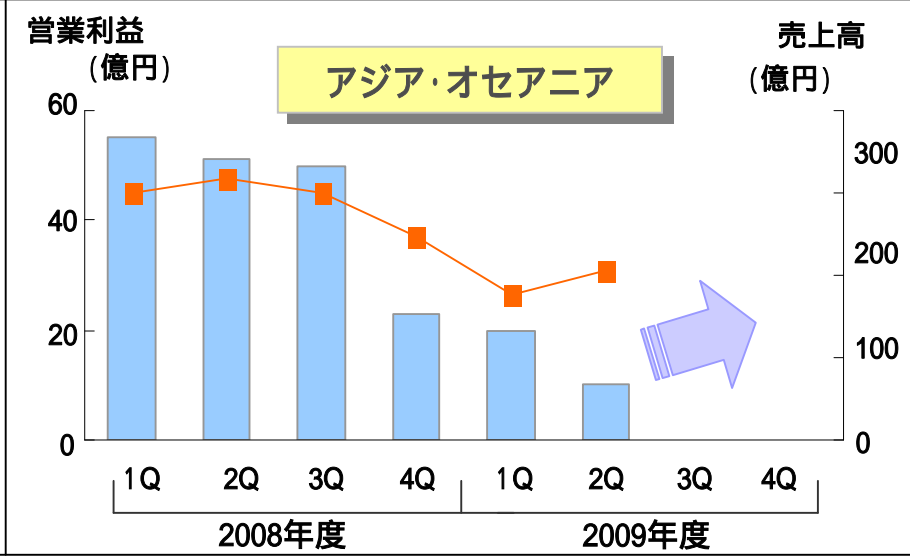
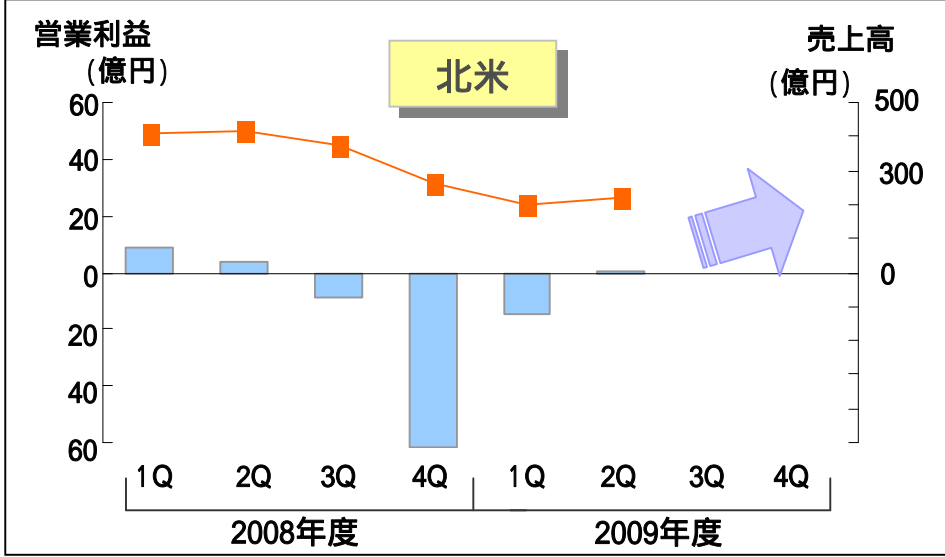
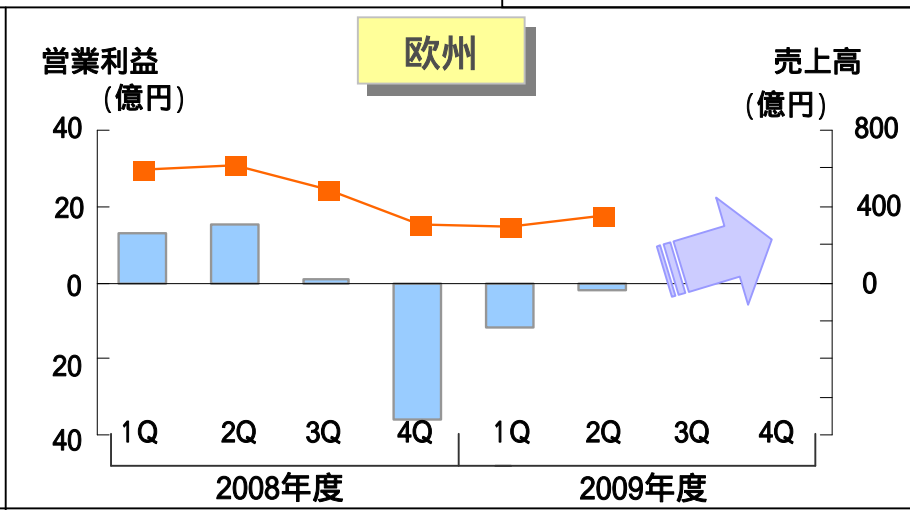
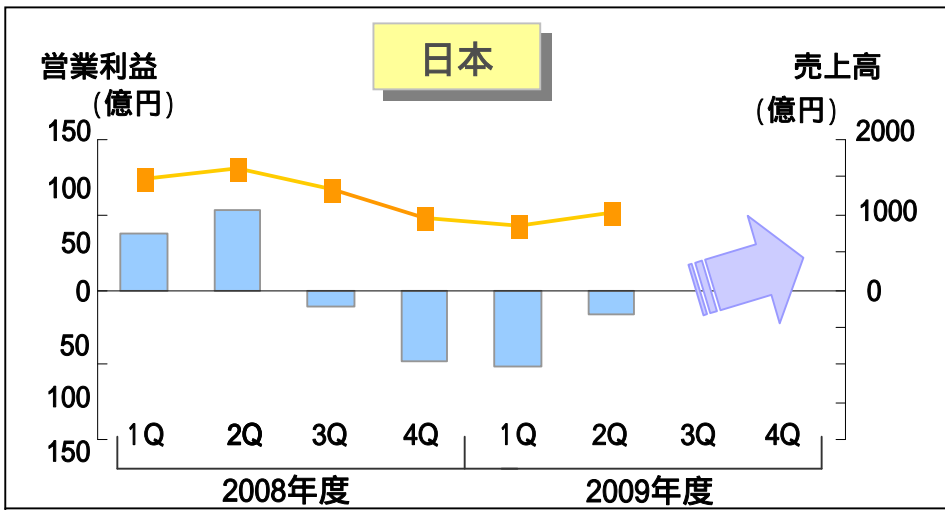
損益分岐点のさらなる引き下げ

1-5) 「収益基盤」の再構築まとめ



第3四半期から黒字転換へ

■ 営業利益 ■ 売上高



2. 将来の成長に向けた事業戦略の展開



1. 新興国市場における事業強化

ステアリング供給体制構築

2. 産業機械市場における事業強化

事業戦略

地域販売網の強化・拡充

設備関連事業の強化

JTFの紹介

3. 需要動向に即応した技術・商品開発の強化

ステアリング ~ 地域・商品別戦略 ~

2-1) 新興国市場における事業強化

ステアリング供給体制構築

現法名・地域	生産品目	ねらい
<p><JSAI> インド ハリヤナ州</p>  <p>完成 : 08年2月 生産開始: 10年2月予定</p>	<p>C - EPS</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・EPS需要増への対応 小型車市場のEPS拡大に対応 ・高品質EPSの提供
<p><JABR> ブラジル パラナ州</p>  <p>完成 : 09年5月 生産開始: 09年9月</p>	<p>油圧PS 油圧PS部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・油圧PS需要増への対応 油圧ライン増設、加工内製化拡大 新建屋により設備能力1.5倍 ・将来のEPS現地生産化への布石
<p><中国5拠点> (長春・天津・廈門・ 新郷・広州)</p>  <p>設立: 96年6月から稼動 (写真: 廈門JSSX)</p>	<p>油圧PS C - EPS</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国におけるEPS需要増への対応 ・自主ブランド車への拡販
<p><JID> インドネシア ブカシ州</p>  <p>改築完 : 10年3月 生産開始: 10年10月予定</p>	<p>C - EPS MSギヤ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アセアン拠点を活用した 供給体制構築 ・成長するインドネシア市場への布石

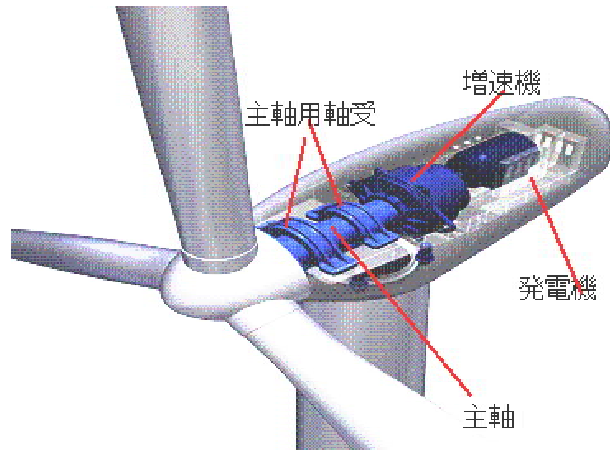
2-2) 産業機械市場における事業強化

軸受事業戦略



風力発電

<ターゲット>
中国・インド・韓国メーカー

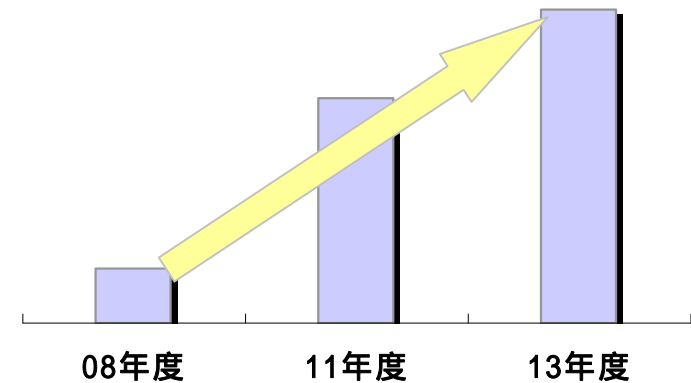


<強化部位>
発電機・増速機

高性能品
(セラミック玉軸受)

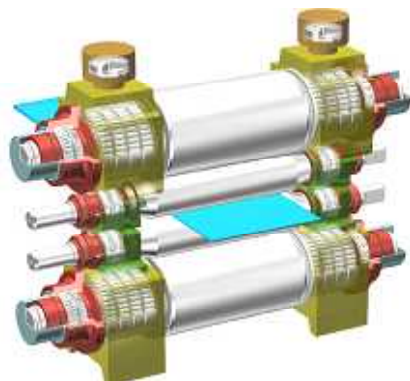
風力発電用軸受 販売目標

(08年度を100とした場合の販売伸び率)



鉄鋼

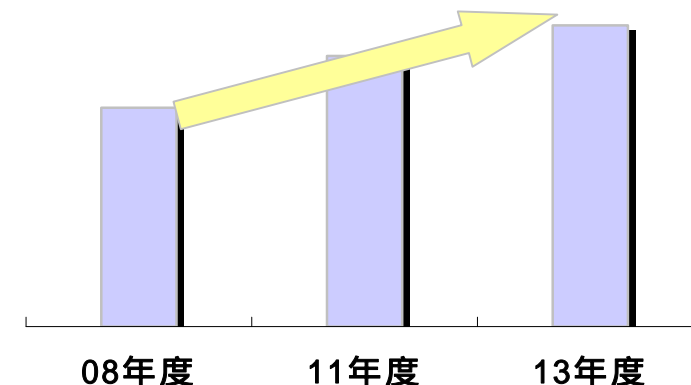
<ターゲット>
鉄鋼メーカー
中国・韓国・台湾・ブラジル
プラントメーカー
欧州・中国



新材料、熱処理技術
による長寿命化

鉄鋼用軸受 販売目標

(08年度を100とした場合の販売伸び率)



2-2) 産業機械市場における事業強化

地域販売網の強化



中国

インド

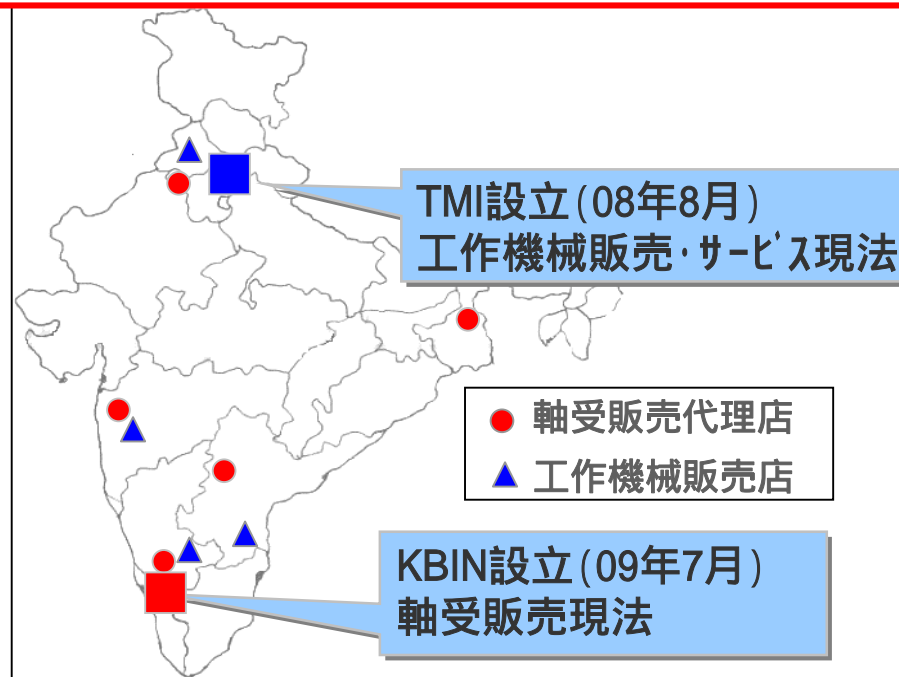
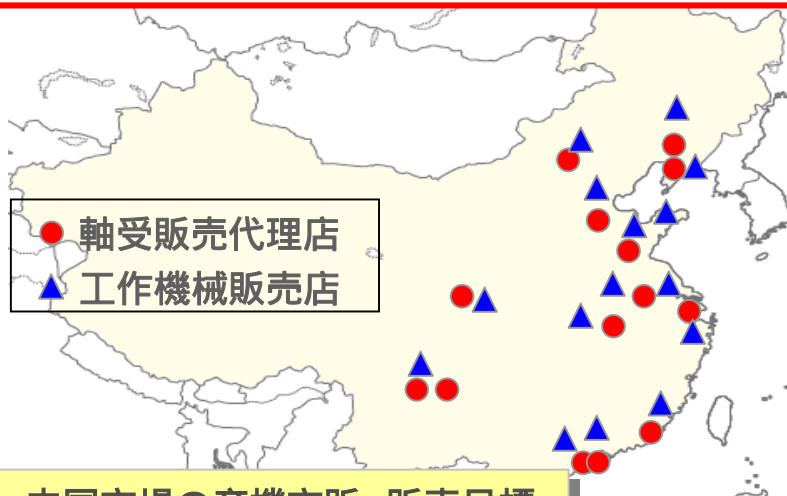
販売網の強化・拡充

大手商社網
販売代理店網
関係会社販売網

強化・拡充

<ターゲット>

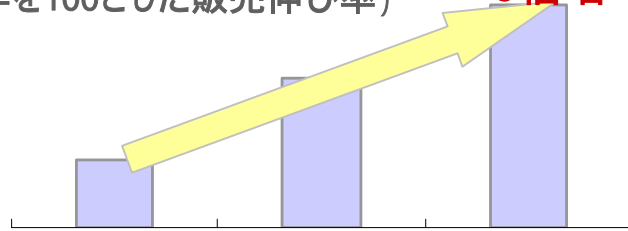
民族系メーカーへの拡販
エネルギー・鉄鋼・農機・建機等の重点分野



中国市場の産機市販 販売目標

(08年を100とした販売伸び率)

3倍増



08年度

11年度

13年度

TMI Toyoda Micromatic machinery India Ltd.
KBIN Koyo Bearing INdia Private Limited

2-2) 産業機械市場における事業強化

設備関連事業の強化 ²⁷

JTEKT

設備関連事業のグループ連携

3社の要素技術共有による開発効率向上

産業機械分野での
商品ラインナップ充実

マシニングセンタ
金型加工仕様

制御技術
解析技術

ジェイテクト

5軸マシニングセンタ
複合加工マシニングセンタ
超精度研削盤

非金属
研削技術

5軸要素
複合要素

三井精機工業

5軸・複合要素

光洋機械工業

複合研削盤

産業機械・航空機・エネルギー分野の商品ラインナップ充実

新製品13機種を市場投入

複合加工機・5軸加工機・大型加工機シリーズ拡大



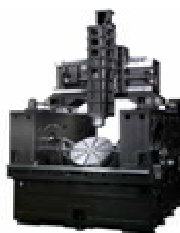
SB3016
門形マシニングセンタ



FV2090S
立形マシニングセンタ



PV640J
APC型立形
マシニングセンタ



UX570
5軸立形
マシニングセンタ



TG4
グライディングセンタ
砥石台自動旋回



Select G7
大形万能研削盤



FH1250SW
横形マシニングセンタ
クイル主軸(W軸)仕様

産業機械・金型分野

航空機分野

エネルギー分野

JTEKT Technical Fair 2009

会期 : 11月4日、5日
場所 : ジェイテクト カスタマーセンター(愛知県刈谷市)
コンセプト : モノづくりの明日が見える

工作機械・メカトロ事業の新製品展示を中心に、
ジェイテクトグループ各社の製品を展示

~ 新製品13機種を発表 ~



2-3) 需要動向に即応した技術・商品開発の強化

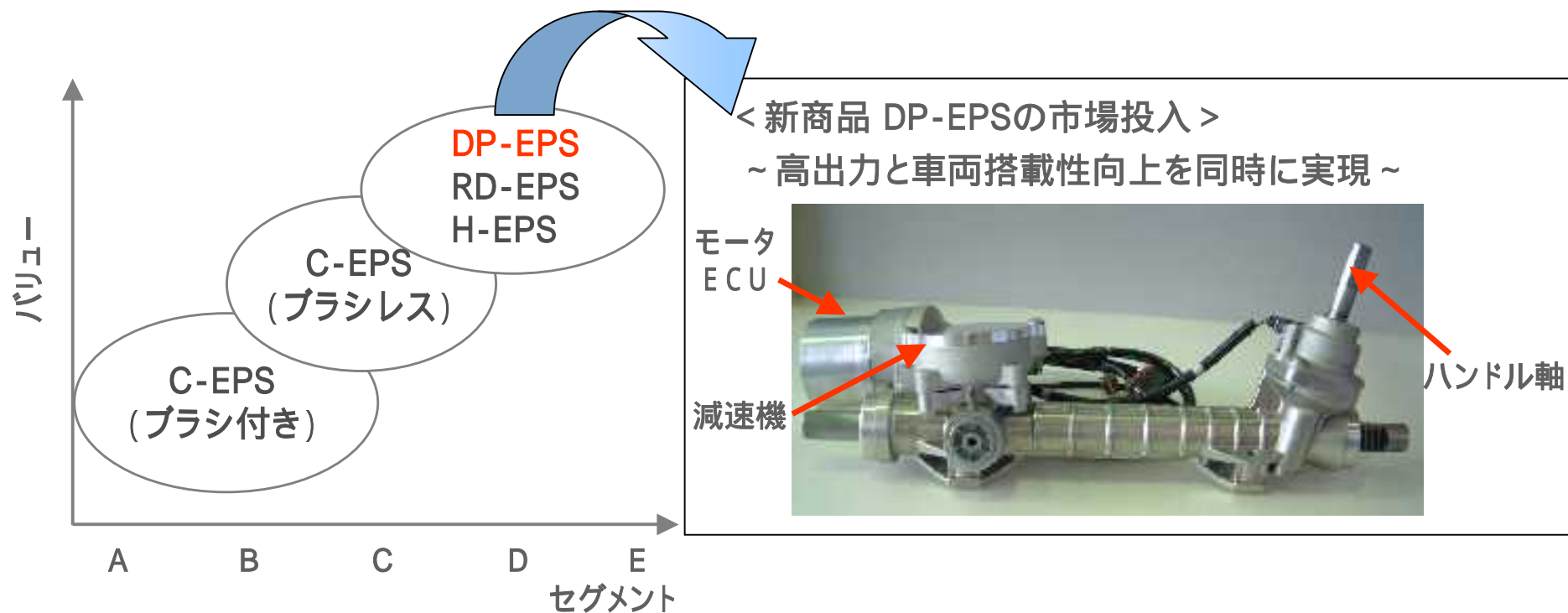
29

JTEKT

ステアリング～地域・商品別戦略～

地域別・商品別戦略の展開による新規顧客開拓

商品戦略	A/B/Cセグメント車	C-EPSの商品力向上
	D/E/Fセグメント車	地域別、顧客別商品展開 (DP-EPS / RD-EPS / H-EPS)

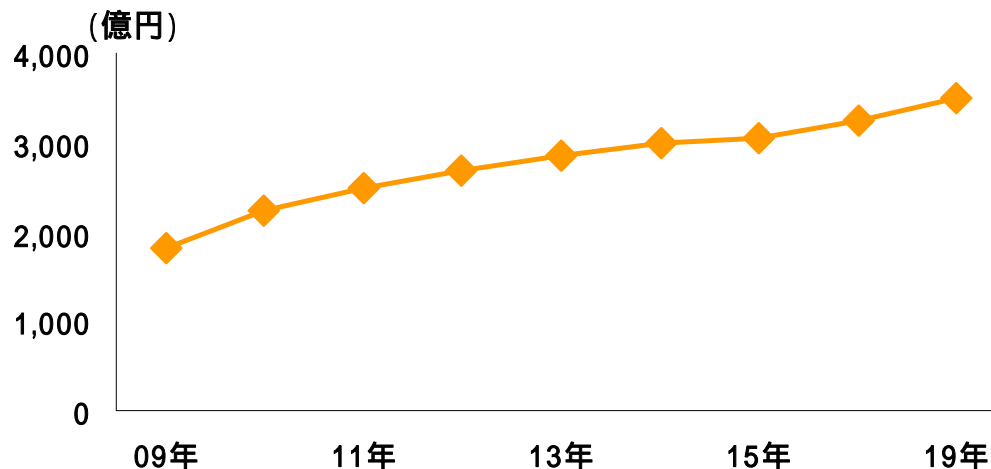


ニードル軸受事業買収の概要

3-1) ニードル軸受事業買収の概要



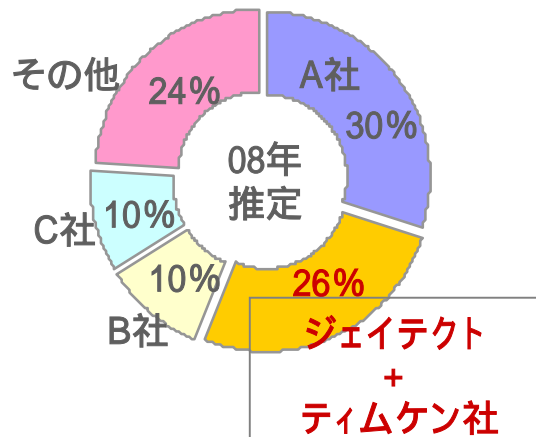
自動車用ニードル軸受の世界需要動向



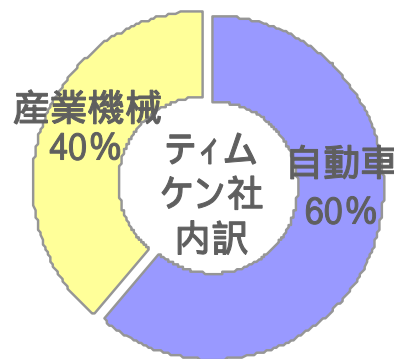
<ニードル軸受需要>
 自動車のトランスミッションの進化
 AT 多段AT
 MT デュアルクラッチトランスミッション
 低燃費・低排ガス車の需要拡大

ティムケン社 ニードル軸受のポジション

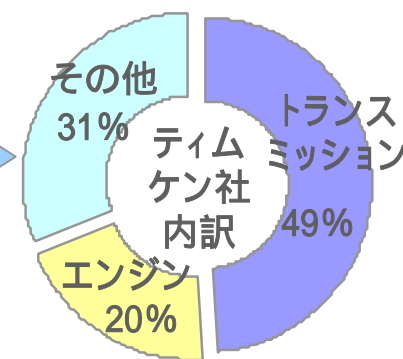
<グローバルシェア>



<市場別販売構成>



<自動車部位別の構成>



3-1) ニードル軸受事業買収の概要



ニードル軸受事業買収の狙い

グローバルでの開発・生産体制の拡充
顧客基盤の拡大
高い生産技術力の獲得
ドライブトレインの強化



自動車用軸受
世界NO.1の地位確保

<ティムケン社のニードル事業の概要>

生産拠点 : 12拠点(米州4 / 欧州6 / 中国1)
開発拠点 : 3拠点(米州1 / 欧州2)
売上高 : 621百万米ドル(08年)

今後の予定

事業運営開始予定 2010年1月1日

ニードル事業推進室を新設

分離・独立・統合の3ステップで両社共通のアクションプラン作成

